



中野区立緑野中学校 学校便り

探求・創造・共生

令和 2年 9月 17日(木) 発行 第4号

生徒会役員に12名が立候補！

校長 齊藤 久

9月に入り学校では3年生から2年生へ生徒会活動が引継ぐ時期を迎えました。9月7日(月)は生徒会役員の立候補の締め切りでした。今年度は、役員の定員8名に対し、12名が立候補をしてくれました。生徒会は、全校生徒を会員として組織され、生徒一人一人の学校生活の充実や発展、学校生活の改善と向上を図るため、異年齢の生徒同士が協力しながら、自主的に取り組む活動です。生徒会役員はその運営の中心となる重要な役割を担っています。ここ数年、役員数に対して立候補者数が同じ、いわゆる信任投票を実施してきました。今年度は多くの生徒が立候補を表明してくれました。選挙活動を通して緑野中学校がさらに良い学校へと向かうものと期待がもたれます。

私は30歳後半に生徒会を担当していたことがありました。生徒会役員とともに、学校を良くするためにどのような取組を進めるべきか、遅くまで話し合った記憶が昨日のように思い出されます。当時は、全国の学校が校内暴力により困難な課題を抱えていました。私の勤務校も例外ではありませんでした。話し合いの結果、生徒会役員は、学校の壊れた場所を主事さんと一緒に直したり、汚れている所の掃除をするボランティアを募集して、学校の環境を整えて行こうということに決まりました。最初は生徒会役員とその友達の10名ほどしかボランティア活動に参加しませんでした。それを改善するためにさらに話し合いを進め、会員番号付きのオリジナルカードの発行やボランティアニュースの発行などに取り組み、時間はかかりましたが、主旨に賛同してくれた生徒が少しずつ集まり始め、最終的には、ボランティア会員は100名近くを募ることができました。ボランティア活動は、校内だけではなく、中学生が溜まっている公園にも掃除に出かけて行き、地域の方々から感謝されました。その後、生徒会役員を中心とした努力が実を結び、学校の環境は整備され、学校は落ち着きを取り戻すことができました。

新型コロナウイルス感染防止から3密を避け、人の関わりを消極的にしなければならない状況の中でも、緑野中学校では、人のために役に立ちたいという志をもった生徒が多いことを嬉しく思います。この気持ちを受け止め、新しい時代へ向けて、緑野中学校を前進する原動力にしていきたいと思えます。



登校時の
あいさつ運動
役員選挙運動

生徒会活動を終えて

生徒会長

私は、二年間、生徒会執行部として活動してきました。その経験、そこから学んだことをみなさんにお伝えできたと思います。

まず、皆さんは、生徒会執行部と言われたら、どんなことを思い浮かべますか。「大変そう」「つらそう」などのことを多くの方が思い浮かべると思います。確かに大変な時もあるし、つらい時もあるのが事実です。しかし、それを遥かに越える「達成感」を感じられると思っています。実際、みんなと話しているときは楽しいし、みんなと考えた企画が成功するとうれしいです。その些細な一つ一つのことが積み重なることで、大変なことやつらいことを忘れるくらい、喜びを分かち合えたと思います。

次に、二年間を通して学んだことについてお話ししたいと思います。一から教えてもらったため、数え切れない程の事を学びました。今回は二つに絞って話したいと思います。

まず、周りをよく見るということです。それまでは、自分の作業にだけ集中してしまったり、一つずつしかできなかつたりと、周りが見えていませんでした。しかし、そのことを言われ実践してみたところ、みんなの進行状況が分かったり、いろいろなことを一気にできるようになったりと、今までとは全く違う景色が見えてきました。そのおかげで、みんなをサポートしたり、指示を出したりすることができました。

次に、当たり前前ことを当たり前前やることです。「そんなことを今さら」と思う人がいると思います。しかし、実際できているでしょうか。挨拶、集合、宿題などたくさんあります。できているつもりでも、見直してみると、できていないことだらけです。そのようなことを、一つ一つ丁寧にやることです。基本的なことができていないと、応用もできません。だから徹底しなければなりません。皆さんも、一度振り返り、見直してみてください。

最後になりますが、私は、この二年間で、生徒会執行部役員として、一生徒として、人間として成長することができました。そして、それほど充実した日々を送ったんだなと思います。支えてくださった方々、本当にありがとうございました。さらに、この文章を読んでくださっているみなさま、僕の経験などは参考になりましたか。まったく関係のないことだとは思いますが、気持ちを受け取っていただくととてもうれしいです。



生徒ロッカーが大型になって再登場です！

昨年度行われた二階の三年生の使用している教室のロッカー更新に続いて、夏季休業中に三階普通教室の生徒用ロッカーが更新されました。教科書が大判化するなどの傾向があることから、今までのロッカーに比較して縦長のロッカーを導入しました。このことで大判の教科書を立てて入れておくことができるようになりました。



第二回進路説明会



9月12日に三年生保護者を対象とした第二回進路説明会を開催しました。今年度に入って多くの皆様を一つの会場にお集まりいただく形式の初めての取り組みになりました。

中学校ではキャリア教育として、1年生から職業調べ学習や職場体験学習などの学習を積み上げていきます。その中で生徒は「なりたい」→「なるには」→「なる」という気持ちを培うこととなります。上級学校の選択においては「この学校で学びたい」→「学ぶには」→「学ぶ」というプロセスになります。そして、いよいよ三年生が中学校卒業後の進路選択の時期を迎えています。

校長あいさつでは、残りの中学校生活で本人の希望する進路選択について、最大限の支援を行っていくことなどの話がありました。

引き続き、プレゼンテーションソフトを用いながら資料の説明をしました。

その中で、東京都立高等学校の入学検定試験の範囲が修正されたことなどの説明をしました。また、例年、多くの学校で行われる学校説明会や体験授業なども、各上級学校で様々な工夫をしながら実施されていることなどの説明がありました。

有志生徒による「ちぎり絵」の寄贈



今年度は、自治会の皆様にもご協力いただきながら、全校生徒で取り組んでいた、地域の高齢者の皆様に鉢花をお贈りする取組が中止となりました。

コロナ禍の中で多くの地域行事が出来なくなる中で、ボランティア部の有志生徒が「敬老の日」に向けて、皆様のご健康とご長寿を祈念して「鶴と亀のちぎり絵」を作成しました。このちぎり絵は、野方区民活動センター様、沼袋区民活動センター様、東山高齢者会館様のご理解を得て展示していただくことになりました。

中野区教育委員会からスマートフォンが二台支給されました

スマートフォン01

電話番号 070-3245-1465

このスマートフォンは、主に学校代表電話がすべて塞がってしまった際にご家庭との連絡に使用します。番号登録をお願いします。

スマートフォン02

電話番号 070-3245-1562

スマートフォン02は相談室だよりでお知らせしたとおりに、専ら相談室で使用することにしました。この電話には留守番機能があり、教育相談担当者の勤務日や勤務時間以外にもメッセージを入れていただくことが可能です。お子様のクラス・お名前・ご連絡先を入れていただければ、教育相談担当者から、後日折り返しをさせていただきます。

月・金曜 こころの教室相談員 鎌 彩絵 (9:00~16:00)
水曜 スクールカウンセラー 東原 史恵 (8:30~16:30)

※時間応相談

※相談室開室日の上記時間・曜日は、相談員が直接電話に出ます。

※面談等に入っている場合は、折り返しかけさせていただきます。

※学校の代表電話 03-3386-5423 からのご連絡も引き続き可能です。

夏の終わりとともに学校の綿の実がはじけました。
緑いっぱい緑野中です。



部活動 活動報告掲示板

職員室前廊下に掲示されています



夏の練習を終えて発行された掲示物には各顧問の熱いメッセージが書かれています。

コロナ禍が収束して、皆様に緑野中学校においていただけることを、お待ちしております。

お詫びと訂正

第三号でお示しした合唱祭の期日に誤りがありました。

(誤) 2月12日ではなく、(正) 3月12日です。お詫びして訂正いたします。現状では校内で実施することもあるため、保護者の皆様に公開する予定はありません